

令和4(2022)年度 住まいとコミュニティづくり活動助成 活動中間報告

団体名

NPO 法人 トルシーダ

活動のテーマ

外国人集住の保見団地における移動屋台を活用したコミュニティ活動

9月までに達成できた事項(箇条書き)

- ・ 移動式屋台制作 WS
- ・ 移動式屋台制作アート WS
- ・ 移動式屋台お披露目会
- ・ 自治区との協働による広場の利用申請
- ・ 移動式屋台の出動(全3回)
- ・ 移動式屋台による日本語教室(おしゃべり会)
- ・ 移動式屋台によるフリーコーヒー
- ・ 新たな人通りの創出
- ・ 公共空間の実験的な活用実績

今後の活動予定と令和5年3月末時点の達成予定事項

- ・ 自治区の秋祭り(11月)への移動式屋台出動
(コロナ情勢により8月に予定されていた自治区の祭りは行われませんでした)
- ・ 青空文庫、本の読み聞かせ
(絵本や本を入手するのが難航して行えておりませんでした。絵本を入手することができたので、10月5日から移動式青空文庫を行います)
- ・ 青空日本語教室の拡張(地域団体と協働で子供に向けた日本語教室も行っていきます)

活動中間ビジュアル報告

■団体名

NPO 法人 トルシーダ（愛知県豊田市）

当団体は、1998年に発足し、1999年から保見団地にて不就学の外国人の子供の居場所づくりを「日本語教室」を介して行ってきました。コロナ禍以降は日本語教室に加え、豊田市内の企業・団体からの寄付による「食材支援」及び「子ども食堂」を地域内住民や他団体と協力して、団地内の集会場や駐車場を使用して行っています。



■活動のテーマ

外国人集住の保見団地における移動屋台を活用したコミュニティ活動

■助成対象活動に至った理由や背景

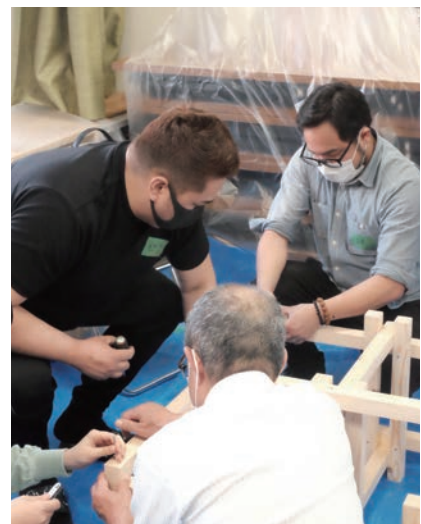
外国籍者も包括した居場所づくりを目指し活動してきた結果、多くの地域住民との交流が生まれています。また、集会所前等の外部空間を利用して、食材支援や子ども食堂の活動により人通りがうまれました。結果的に、兼ねてより問題とされていたゴミの出し方が地域住民によって自発的に改善されつつあり、団地の景観改善につながっています。

これまで行ってきた活動を面的に広げ、集会所前から離れた場に居住している住民も包括した活動を行うこと、そして集会所前外部空間以外の場所でも人通りを創出することをの必要性を感じ、移動屋台を活用したコミュニティ活動に至りました。

■9月までの活動の進捗状況

ワークショップによる移動屋台の制作、屋台のお披露目会、移動式屋台の出動（計3回）を行いました。

屋台制作 WS (2022年5月5日)



地域の方と協働で屋台の制作を行いました。

屋台テント 制作アート WS (2022年5月8日)



地域の方とアーティストと協働で屋台のテント制作を行いました。

屋台 お披露目会 (2022年6月18日)



アート WS で制作したテントをロープに取り付け屋台を完成させ、お披露目会を行いました。

屋台 出動 (2022年7月16日)



屋台 出動 (2022年8月20日)



屋台 出動 (2022年9月17日)



これまで全3回、屋台を広場に出動させました。青空日本語教室やフリーコーヒーを行い、徐々に地域の方に認識されています。

■今後の活動予定

自治区秋祭りへの移動式屋台出動、青空文庫・本の読み聞かせ、青空日本語教室の地域団体との協働による拡張を行っていきます。